



**THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA
Y'S WOMEN**

大阪なかのしまワイズウイメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2013-2014)

国際主題：“Go Ye Into All The World” “全ての世界に出て行こう”
 アジア主題：“Start Future Now” “未来を始めよう、今すぐに”
 西日本区主題：“志を持って例会に参加し、学びの機会を持ちましょう”
 中西部主題：“ワイズの価値を見直そう”
 クラブ主題：“大人の女性を目指して共に歩もう”

第 203 号

2013 年 12 月

聖書のことば

朝露は、熱風の季節に安らぎを与えてくれる。
言葉の露は施しよりも、効き目がある。

シラ書（集会の書）18章16節
選者 藤好 基子

11月例会報告

常識にとらわれない選択で
子どもたちに未来を

高橋 京子

穏やかな秋はつかの間に、冬のような寒さの11月。例会は暖かいお部屋で和やかに始まりました。

強力メンズトリオからはYMCAクリスマス献金協力へのアピール、そして東日本大震災復興支援のクリスマスコンサートの紹介。必要な活動の継続や新たな取組みのために、ご協力をお願いいたします！



さて、紅葉した楓が添えられた美味しいお食事をいただき、卓話では杉浦真喜子さんからロールバックマラリアについての学びの時をいただきました。

マラリアは世界3大感染症のひとつ。マラリア感染者は世界で2億4千300万人、そのうち2億800万人がアフリカに集中し、今も30秒に1人の命が奪われているそうです。しかも88%が5歳以下。

蚊に刺されて感染するマラリアにはワクチンなし。治療薬に耐性ができると効かないため予防が一番の対策ですが、予防にDDTも使用されていることに驚く方も。そう、日本では戦時にシラミ駆除で使われた農薬です。危険性が見つかり多くの国で一旦は使用禁止となったDDTですが、調査・研究が進み『環境蓄積のリスク』よりも『マラリア予防に貢献して多くの子どもが救われる効果』の方が大きいという判断のこと。100%の正誤選択が困難なことは日常多々。常識にとらわれず新しい情報に応じて柔軟に考えを変える決断が必要な時もあると改めて感じました。

ワイズメンズクラブでは、マラリア感染を半減するために1998年にWHO・ユニセフ・国連開発計画(UNDP)・世界銀行が立ち上げたロールバックマラリアを支援し、人体に影響がない防蚊薬剤を練りこんだ蚊

【次頁に続く】

12月第1例会プログラム
京都トゥービークラブとの合同例会

日時：2013年12月11日（水）19:00～21:00
場所：ホテルグランヴィア大阪

司会 国友 朝子

1. 開会点鐘 大阪なかのしまクラブ 武井和子会長
2. ミュージックタイム Player MAIKO HIRO YUMI
3. ワイズソング
4. 聖句朗誦 藤好 基子
5. ゲスト、ビジター紹介 両クラブ会長
6. 連絡・報告・ニュース
7. 食前感謝&食事
8. 交流
9. お誕生祝い、アニバーサリー
10. ニコニコ献金報告 ドライバー
11. YMCAの歌
12. 閉会点鐘 京都トゥービークラブ 吉田真理会長

*開始時間の変更に注意してください。

例会当番：（B班） 受付当番：（A班）

11月統計

11月統計		
第1例会出席者数	例会出席率	BF 統計
メンバー 16名	出席者 16名	日本 190g 累計 2872g
ビジター 5名	メイキャップ 1名	外国 10g 累計 398g
ゲスト 名	合計 17名	現金 円 累計 円
コメント 1名	在籍者 18名	提供者：今井、桑原、杉浦、 武井、藤好、保田、 吉岡、渡辺
合計 22名	出席率 94%	

帳を広める活動をしています。 ウィズメンズクラブでは多くの取組みをしており、 恐縮ながら理解不足のことも……。 しかし今回の卓話でマラリア理解が深まり、 ロールバックマラリアへの意識も高まりました。 お腹も心も頭も満たされた例会に感謝！

チャリティーランに参加して

杉浦 真喜子

10月14日体育の日、 爽やかな秋空のもと、 大阪城公園にて、 第19回大阪YMCAチャリティーランが開かれました。 例年同様、 我がなかのしまクラブは、 大阪YMCA表現コミュニケーション学科の1チーム分の参加費5万円をサポートし、 あとは当日抽選券の販売と、 景品渡しがお仕事です。



9時からの開会式では、かわいい子どもたちのチアリーディングが会場を華やかにしました。最初に順位制が、そしてその後宣言タイム制

とオープン制がそれぞれスタートしていきます。順位制はさすが足に自信あるチームばかり、あっという間に、我々の前を駆け抜けていきます。宣言タイム制、オープン制になると、子どもあり、おじいさんあり、仮装ありと急に和やかに。

我々抽選券の係は、時に拍手をし、「がんばれ！」と叫びながらも、券の販売をしっかりと。でも競技が終わり閉会式に入る頃になると、こっちが売りに行かなくては、次から次へと買いにくる人たちが……、「豪華景品」「空くじなし」の放送が効いたのか？結局数枚を残して抽選券はほとんど売れてしまいました。

長い閉会式の後、やっと景品渡し。4等まではセレモニーの中で景品または目録が渡されていて、われわれ

新メンバー自己紹介

小倉 玲子（こくら・れいこ）

このたびは大阪なかのしまウィズメンズクラブの新メンバーとして、あたたかく迎えていただきまして、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

「世の光となれ」。

入会前にいただいた会報に母校の教えである聖書のこのことばを見つけた時、胸をギュッとつかまれた気がいたしました。日々、仕事や雑事に追われ、心に余裕がなくなりかけていた私ですが、「大切なモノは何か」という“気づき”をいたしました。ゲストとして何度か参加させていただいた例会でも、毎回“気づき”をいただいています。

今後も皆さんのご指導のもと、グローバルな視点で、さまざまな活動を行っていけたらと思っております。

「知力」よりは「体力」派、どちらかという走りながら考えるタイプです。かつての上司には「外柔内剛」と言われました。そして、あこがれるのは沈思黙考型の方々…。

こんな私ではございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

の守備範囲は5等、6等、7等。いろいろな景品の中から好きな物を取っていく頂くのですが、何しろすごい人。「何でもいいから軽くて嵩張らない物」とか、「これ10個、何か入れ物ない？」とか、てんやわんやはいつものこと。やっと大方の人が立ち去って、自分達の景品を取り、残った物を箱に詰めたり、梱包したりして、やっとお仕事終了。

その後、我々なかのしまのみんなは、近くのホテルへ行き、遅い昼食とデザートとおしゃべり……これがまた楽しい！心地よい疲れを覚えながら家路についたのはもう夕方近くでした。

とさぼりカーニバルに参加して

藤井 弥生

第13回とさぼりカーニバルは11月3日（日・祝）雨が心配されましたが、来場者1,200余人を迎えて11時のオープセンセレモニーが賑やかにはじまりました。

バザー用品はメンバーの皆さんから日用雑貨、衣料品などや國友さんのお姉さまから新品、あまり使われていない素敵なかわいい鞄、財布がいっぱい。値付けのときから自分が出したのに、他にいいものを見つけては買って帰るという大阪のおばちゃん現象となっていました。

なかのしまは、ミャンマーグッズ、雑貨バザー、武井会長の手作りのおいしいパウンドケーキなどを楽しく忙しく販売しました。2階、6階、8階、ホールのどのお店も大繁盛で長蛇の列。マイ食器持参の呼びかけがかなり行き届き、昨年より更にエコ運動が浸透してきています。



午後からは最後のお楽しみ抽選会。六甲山YMCAマントルピースの招待券は日本語学科の学生さんに、阿南海洋センター・ファミリーウィーク招待券は表コミの保護者の方に当たったようです。その他のお食事券、自転車が当たった方もきっと目を輝かせお喜びだったでしょう。YMCAのユースリーダー達、学生たちの活躍、あふれる若さ、活力を大いに感じました。

なかのしまも奮闘し34,300円を売り上げ、収益金合計金額399,502円をクリスマス献金に捧げます。皆さんの喜び、楽しい一日にありがとうございます。

点字にまつわるお話 <6>

渡辺 宏子

2010年3月11日の毎日新聞の記事で副題として「色知る辞典欲しい」。この記事の主人公は、視覚障害者支援学校のY君は物を見たことのない全盲で、弁論大会で「ぼくの一番見たいもの」という題で準優勝をした。「一番見たいものってなんだ」と先生に問われて首をひねった。「あまり考えたことないんですけど……」。以来「見る世界」への好奇心がわき上がる。弱視の級友は「見るというのは、触らず、におわず、聞かずして、そのものが分かることだ」と言う。だとすれば、「見えない人は触ったり、においをかいだり、聞いたりしてものが分かる人」ということになる。

疑問はさらに「色」に到る。どうやら、世の中は色にみちているらしい。そこで周りを巻き込んで、手当たり次第に質問した。「これは何色ですか?」ポストとコーラの自動販売機とリンゴは赤で、チョコは茶色。ヒマワリとバナナは黄色で、丹波の黒豆はもちろん黒だが、黒板はなぜか緑色だそうだ。「透明のガラスを通してものが見える」とか「恋はピンク」というのはどういうことだろう。恋に色はないが、感情を色で例えることができるらしい。

そんなY君が欲しいものは、盲人用の「色辞典」。普通の辞書で「赤」をひいても「三原色の一つ。炎の色」と書いてあるだけでは、さっぱりイメージが広がらない。

のことから、私たち健常者は、見えていて、ものに色があるのは、当たり前のことと思っています。感謝のかけらも感じていません。

視覚障害者の方たちと関わり始めて、普通に感じていたことが、大切なことのように思えてきました。「当たり前」のことに目をむけて感謝して過ごしていきたいと思っています。このコラムをお読み下さりありがとうございました。

交流活動記：他部会・他クラブ例会訪問

故尾崎琢磨氏の追悼例会に出席して：今井利子

10月19日（土）セントラルクラブ例会に出席した。故尾崎さんは、大阪教会で信仰心深く神に仕え、YMCAでは永く真剣に苦楽を共にし、ワイズメンズクラブではいくつかのクラブ創立にかかわり、私たち一人ひとりに強い思い出を残してくださいました。尽きない語り合いの時間でした。例会後、お抹茶をふるまわれました。

尾崎琢磨さんを偲んで：國友朝子

私にとって尾崎さんといえば宇治のハ王子クラブとの合同例会の一件です。例会後の懇親会で尾崎さんは浴衣姿ですっかり宴会モード。大広間でビールを飲みながら笑いあって、普段の謹厳なお姿からは想像もつきません。心の中で！マークが点滅しまくりです。その後、私は尾崎さんを飲み友達の一人にカウントすることにしました。

旧約聖書もおもしろい -6-

江見 淑子

＜ダビデの子、イエス・キリストの系図＞

ダビデがなぜキリストの系図に不可欠な人物なのかは、もう少し後に書くことにして、今月はクリスマスに関わるお話をしましょう。

「さあ読むぞ」と取りかかった聖書の最初に意味不明の系図にぶつかり、読み飛ばしたくなりますね。マタイ福音書は族長アブラハムから始まっていますが、ルカによる福音書3章ではイエスから始めて、アダムそして神にまで逆のぼっているのです。福音書は4つあるのに、2つだけに救い主の誕生の経緯が書かれています。2つは内容も登場人物も違っているのですが、幸せなクリスマス物語の舞台には天使も星も、博士も羊飼いも登場しての大パノラマでお祝いしています。伝記ならありえないことです。

キリスト教が広がり、生前のイエスを知っている人もいなくなると「イエスは誰か」を記した文書が必要になりました。特に外国人改宗者には旧約聖書の歴史や神の愛についての予備知識が必要です。そこで1000年かけて実現した「キリスト誕生」の出来事を伝えたいため、旧約のダイジェスト版ができました。それがクリスマス物語だという訳です。だから、大きな星がいつ何処にでたか、天使の合唱や輝きはどうだったかの事実を探しても意味はありません。苦難の中を歩む人に差し出された、現実を支える大きな物語なのです。だから、芸術のインスピレーションになりました。

もうお分かりですね「おとめマリア」は処女かどうか、なんて議論はちょっと的外れ。自分の関心に引き寄せているのです。うちの夫は「処女降誕はイイヨ!」といいますが。私は天使の合唱を聞いたことがあると思っているし。キリスト教2000年の歴史は玉石混合で、人の強欲と支配欲を隠すイデオロギーにもなっています。

◆ YMCA ニュース ◆

土佐堀YMCAクリスマスコンサート～忘れないで～

日程：12月6日（金）午後6時30分～

場所：大阪YMCA会館 10階 チャペル

YMCAリビングサロン12月

～大人のためのセミナー～

日程：7日（土）『クレイ・シルバーアクセサリー』

14日（土）『クリスマスリース』

21日（土）『スケッチ』

時間：全セミナー 午前10時～12時

場所：大阪YMCA会館

申込：大阪YMCA国際文化センター 担当 高橋

takahashi-kyoko@osakaYMCA.org

第248回 大阪YMCA早天祈禱会

日時：12月20日（金）午前7時30分～8時30分

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル

証し：小笠原 純 牧師（日本基督教団高槻吉田教会）

ときおりカーニバルではたくさんの笑顔に癒されました。みなさまのご協力に感謝いたします！12月もクリスマスコンサートやセミナーの楽しいひとときをご一緒できますように☆

高橋京子

ニコニコ献金 11月 21,000円

《ニコニコメッセージ》 -11月例会-

☆一年振りの例会に出席させて頂きました。やっぱりなつかしく楽しそうで良かったです。嬉しい誕生日です！！ マラリアのお話大変勉強になりました。

(大阪西クラブ：井上佑起子)

☆久しぶりに例会に出席させていただきました。今年もクリスマス献金をどうかよろしくお願ひします。

(大阪センティアルクラブ：大村 肇)

☆久しぶりです～。クリスマス献金の時期になると出席させていただき多大な献金を頂きありがとうございます。今年度もよろしくお願ひします。目標金額2,400,000円です。

(大阪土佐堀クラブ：奥田時夫)

☆ロールバックマラリアのように各クラブで会員数を10年前の状態へ押し戻すロールバック〇〇作戦をよろしく……。(大阪土佐堀クラブ：工藤義正)

☆いつもながら賑やかで華々しい“なかのしま”の例会に参加できてワクワクを楽しんでいます。

(大阪センティアルクラブ：山田孝彦)

☆杉浦さんのロールバックマラリアの卓話、さすが元主任、わかりやすくて素晴らしいでした。見習わなくては！(生雲)

☆11月3日のとさぼりカーニバルも外に向か内輪に向けて楽しい会になりました。感謝です。秋を飛び越えすっかり寒くなりました。杉浦さんのスピーチでまだまだしっかり支援をしなければと心にひびいたお話でした。(今井)

☆秋の服を着るチャンスがないまま“メチャ冬”と入れ替えました。(江見)

☆秋はコンサートのお誘いを次々と頂き嬉しいです。先日は「現代音楽の楽しみ方」というコンサートに行ってきました。でも、現代音楽は難しくて居眠り状態でした。(大岸)

☆生物は進化する。バイキンも虫も。このシンプルな捉を私たちは忘れているのではないか。それともあまりにも傲慢で、必ずコントロールできると思っているのか。当面は、目の前の問題を片づける努力をしなくてはならないのだけれど。(国友)

☆秋が短くなった日本の四季はどうなるのか？(桑原)
☆杉浦さんのお話はとても興味深く勉強になりました。

うかがったお話を、今度は私が、私の友人たちに伝えたいと思っています。理解者が一人でも増えますように。(小倉)

☆先日、東京へ行ったついでに、函館の高校の在東京同窓会に出席しました。高2で転校したにもかかわらず、顔を合わせるなり「杉浦さん！」って。私、そんなに変わっていないのかな？喜ぶべき？(杉浦)

☆ロールバックマラリアへの思いが深まり、学びが多い卓話でした。(高橋)

☆梅花学園昭和37年卒業生古希お祝いの同窓会に出席しました。元気でお洒落！大阪のおばちゃんはすごいと、思わず声をあげました。でもなかのしまの皆さんは、もっとすごいパワーをお持ちです。杉浦さんのマラリアの事、すごく勉強されている事わかりました。感動しました。(武井和子)

☆杉浦さんのおはなし、とてもたのしみです。おかげ、はやくなおるといいですね。(武井美帆)

☆孫たちの授業参観に行く機会がありました。元気に飛

び跳ねている孫たちを見て、息子たちの小学生時代を思い出しました。今夜、マラリアで5歳未満の子どもたちがアフリカではたくさん亡くなっている現実を知り、どの子もどの子も幸せに育ってほしいと願わずにいられません。(藤好)

☆ロールバックマラリアについてお話しを聞くことができ、いい学びの時を過ごせました。(松下)

☆今日は以前から勉強したかったマラリアのはなし。ロールバックってどういうイミかな、とか。楽しみです。(保田)

☆杉浦さんのロールバックマラリアの卓話でより一層理解出来ました。ワクワクの国際活動として続けて行きたいですね。(吉岡)

☆昨年の引っ越しで相当断捨離をしました。年末の大掃除で断捨離をして、身軽になって新年を迎えよう！と決心しながら捨てられずにいるものが沢山有ります。物に対する価値観を変えなければね。(吉田)

☆なかのしまクラブに入会した時も寒い時期で、今日の寒さは今日の例会に参加出来るうれしさとワクワクのメンバーとしての気持ちをしっかり持たなくてはという思いを強くします。(渡辺)

11月第2例会報告抄

日 時：2013年11月20日（水）18:30～20:30

場 所：大阪YMCA 504号室

出席者：14名

会に先立って、大阪YMCA表現コミュニケーション学科担当者より、チャリティーラン支援に対する子どもたちのメッセージ集が届けられた。

1. 元国際会長藤井寛敏氏をお招きしての「オープン例会」（2月15日）について、チラシ作成中、30日の大阪YMCA大会時にアピールすることや、講演内容については現在ご本人と協議中の報告があった。

2. 大阪YMCA大会（11月30日）に於けるなかのしまクラブのパネル展示について、高橋連絡主事より具体的方法など説明があり、準備のための仕事会（28日午後）について提案があった。

3. 集めていたミアンマーへの荷物の送付につき、リスクを覚悟の上で郵便小包を試すこととした。

4. 土佐堀カーニバル（11月3日）での収益金（399,502円）と、なかのしまクラブの収益金（34,300円）の報告があった。

5. 清水汎次期部長より次期中西部主査について再要請があったとの報告を受け、一旦なかのしまとしては「受けられない」との結論となつたが、再度協議の結果、次期EMC主査をなかのしまクラブとして受け、武井和子さんがその役を担うこととした。

◇ 12月お誕生日の方 ◇ Happy Birthday

藤好 基子 11日 大岸 弘子 13日

藤井 弥生 28日

編集後記

石畳の道に枯葉が散らばっているのはまさに秋の風景。上田 敏の名訳を思い出します。“秋の日のヴィオロンの……”

